

分煙対策事例 その2

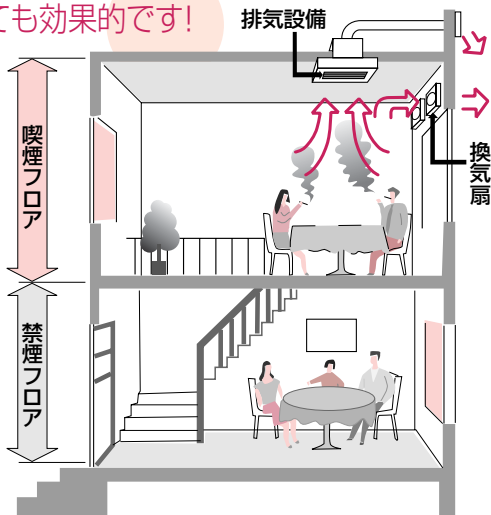
Point

禁煙・喫煙をフロアで分け、 喫煙フロアには排気設備を設ける

2フロア以上の客席等をもつ施設で、1フロアを喫煙可として排気設備を強化し、他のフロアを全面禁煙にすることで、フロアごとに分煙する方法。

※煙は上にのぼっていくので、たとえば2フロアの施設なら禁煙フロアは1階、喫煙フロアは2階にする必要があります。

とても効果的です!



分煙対策事例 その3

Check

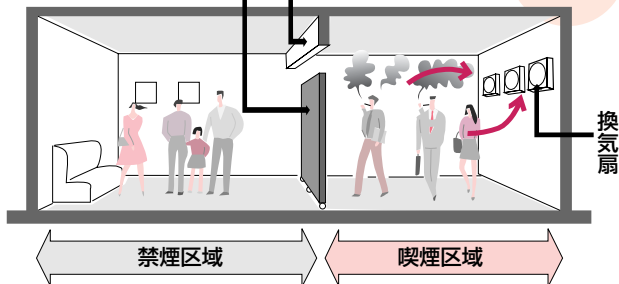
喫煙場所を区画化または特定して、 排気設備を設ける

喫煙場所と禁煙区域の境界に垂れ壁、スクリーン、カーテン等を設置し、区画化する方法。さらに床にもパーテーション（ついたて）を置き、喫煙場所の排気設備を強化します。

※ただし、エアコンやドアからの空気の流れにより禁煙区域へタバコの煙が流れ出やすく、その分、分煙効果は低くなります。また、空間分煙と禁煙タイムの組み合わせで、受動喫煙の防止対策を高めることができます。

パーテーション 垂れ壁

やや効果的です!



禁煙区域

喫煙区域

換気扇

完全禁煙や完全分煙できないお店は

せめてもの分煙対策を！

喫煙場所を特定する

Check

タバコを吸う人と吸わない人を分離する

この方法は、空間分煙の中でも、一般的な方法で、多くの施設で実施されています。しかし、禁煙区域に喫煙場所が隣接していると、分煙したことにはなりません！



禁煙席はあっちね。



※パーティションで区画するような分煙方法がとれない施設などでは、喫煙場所は、禁煙区域とできるだけ隣接しないように設け、排気設備を新設・強化しましょう。さらに禁煙タイムなどの時間分煙との組み合わせで、分煙効果を高めるように努めましょう。

8

「禁煙タイム」の導入

Point

空間分煙が難しい場合はせめて「禁煙タイム」を設けましょう。利用者が多い時間帯などに禁煙タイムを設定します。禁煙時間を明確に表示するとともに、禁煙タイムは灰皿を片づけておきましょう。また、喫煙場所の特定と禁煙タイムの組み合わせで、受動喫煙の防止対策を少しでも高めましょう。



働く人の健康も！

Check

お客様ばかりでなくお店で働く人の受動喫煙を防止も大事です！

空間分煙対策をしても、喫煙室や喫煙フロアで働くお店の従業員の受動喫煙を防ぐことはできません！！



空気清浄機では分煙できません！

Check

室内の空気をきれいに保つ方法として、比較的手軽に導入できる空気清浄機。しかし、空気清浄機ではタバコの有害成分の多くを占めるガス状の有害物質は取りのぞくことはできないことが、近年明らかになりました。受動喫煙防止の基本は、あくまで空間分離と屋外への排気です。この2つを守り、効果的な分煙を行いましょう！

